

地方創生推進交付金事業（令和元年度実績及び効果検証）

総事業費 10,000,000 円

交付金額 5,000,000 円

◆事業名 まちの元気情報発信事業

◆事業目的

若者等が町中を駆け巡りまちの元気を発見し、その情報をあらゆる手法で全国・国外に発信し、まちの元気づくりと観光客の増加につなげ、外国人も含めて観光客が集落行事にも参加できる環境を整備し、「浄土」「伝統文化」「田舎」を体験しながら、地域住民との交流促進と、町民の新たな分野での創業（仕事づくり）を目指す。

◆事業実績

1. まちの元気情報発信事業（補助金 10,000,000 円）

まちの元気づくりと観光客の増加をめざし、FM放送やSNS（フェイスブックやツイッター等）、タウン誌などあらゆる手法を通じて、町内、県内、国内、海外への情報発信を強化し、まちの魅力を発信した。

【事業実施者：㈱エフエム岩手 H31.4.1 契約締結】

【事業実績（令和2年3月末現在）】

① 平泉ひかるFM

毎週月曜日 12:00～12:30（30分） 53回

② いいね！ふるさと～元気総研～（毎月最終火曜日 12:25～12:55）

番組内で平泉の情報をPR 計5回

③ Facebook 投稿 365回 動画投稿 23回

④ Twitter 投稿 265回

⑤ YouTube 52回

⑥ 読むひかるエフエム（3月に1回発行。町内全戸配布） 計4回

⑦ 情報誌シニアズ掲載（毎月第4日曜日発行） 計4回

◆本事業による評価指標

目標年度	H28.12.31 現在	R02.03 末現在	R02.03 末目標
観光客入込数	200.6 万人	206.7 万人	220 万人
外国人観光客入込数	3.2 万人	4.8 万人	5 万人
メディア等を通じた情報の発信件数	52 回	771 回	150 回

[本事業の効果検証]

事業の効果※1	② 地方創生に相当程度効果があった
外部有識者からの評価・意見※2	① 地方版総合戦略の KPI 達成に有効であった それぞれの地域で町民が主体的に取り組む活動を町民や平泉を訪れる観光客をはじめ、町の新たな魅力として広く発信することができるが、情報を発信する一方で観光客等の受け入れ体制が不十分であるため、一方的な情報発信のみとならないよう、地域の理解と体制整備が必要。
今後の方針	事業の継続 地方創生推進交付金の事業としては終了となるが、令和3年度には世界遺産登録10周年を控えていることから、さらなる観光需要の拡大に向けて、町の魅力やあらゆる情報を町内外に発信していく役割を担う事業として継続していく。

【※1 事業効果：選択肢】

- ① 地方創生に非常に効果的であった
(例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合)
- ② 地方創生に相当程度効果があった
(例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合)
- ③ 地方創生に効果があった
(例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合)
- ④ 地方創生に効果がなかった
(例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合)

【※2 事業評価：選択肢】

- ① 地方版総合戦略の KPI 達成に有効であった
- ② 地方版総合戦略の KPI 達成に有効とは言えない